

施策評価シート

対象年度 (28 年度)

1. 基本情報							
施策コード	321		施策名	「生きる力」「考える力」を育む学校教育			
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)					
まちづくりの基本目標	32	子どもが生きる力・考える力を身につけられるまち					
主担当部	教育部		主担当課	指導課	係		
担当者	長井 満敏		役職	教育部参事(指導課長事務取扱)		内線	351
関係課	教育総務課	生涯学習スポーツ課					

2. 施策の方向							
10年後の姿	教員の指導力の向上や教育課程の工夫と改善によって学校教育が一層充実することで、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健やかな体」といった「生きる力」「考える力」が育まれています。						
施策の方向性	1	子どもたちの学力の向上を図ります					
	2	子どもたちの「機やか(しなやか)で強か(したたか)な心」と、豊かな人間性を培います					
	3	子どもたちの心身の成長と、体力の向上をめざします					

3. 構成事業の状況							
		(単位:千円)					
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
0110010205	就学事業		3	教育総務課	1,137	1,178	1,172
0110010309	情報教育推進事業	対象	1	教育総務課	48,945	47,184	54,439
0110010318	地産地消推進事業(学校教育)	対象	3	教育総務課	-	1,192	1,917
0110010325	共同事務事業		0	教育総務課	-	-	3,230
0110020102	小学校施設維持管理事業		1	教育総務課	72,407	77,150	69,664
0110020103	小学校運営管理事業		すべて	教育総務課	126,458	130,372	140,481
0110020201	小学校教育振興事業		すべて	教育総務課	35,573	36,773	35,958
0110020204	小学校修学旅行等行事事業		すべて	教育総務課	7,415	7,286	7,315
0110020301	小学校健康管理事業		3	教育総務課	23,365	24,740	26,200
0110020303	小学校給食事業		3	教育総務課	104,958	103,937	102,153
0110020502	小学校校舎改造事業	対象	1	教育総務課		21,060	26,000
0110020507	小学校特別教室空調整備事業	対象	1	教育総務課			85,000
0110030102	中学校施設維持管理事業	対象	1	教育総務課	40,760	59,873	36,526
0110030103	中学校運営管理事業		すべて	教育総務課	72,444	73,624	73,901
0110030201	中学校教育振興事業		すべて	教育総務課	26,119	25,207	26,495
0110030204	中学校修学旅行等行事事業		2	教育総務課	8,333	8,519	8,979
0110030301	中学校健康管理事業		3	教育総務課	12,754	13,948	14,760
0110030303	中学校給食事業		3	教育総務課	107,505	119,302	122,342
0110010301	指導事務事業		すべて	指導課	11,854	535	640
0110010303	研究指定校等推進事業	対象	すべて	指導課	7,906	5,481	8,490
0110010304	教職員研修事業		すべて	指導課	268	744	474
0110010308	児童・生徒健全育成事業	対象	すべて	指導課	2,855	3,308	3,811
0110010311	特色ある教育活動事業	対象	すべて	指導課	8,547	4,292	4,800
0110010313	学力向上推進事業	対象	1	指導課	45,892	44,863	48,011
0110010323	児童・生徒支援事業		1	指導課		11,729	14,533
0110010324	特別支援事務事業		1	指導課		5,917	6,919
0110010327	イングリッシュキャンプ事業	対象	1	指導課			1,780
0110020202	小学校教育指導事業		すべて	指導課	16,255	8,443	6,644

施策評価シート

0110020206	小学校移動教室等行事事業		すべて	指導課	2,908	2,859	3,750
0110020207	多摩六都科学館見学事業		すべて	指導課	1,292	1,398	1,537
0110020401	小学校スクールバス事業		すべて	指導課	4,392	4,251	4,632
0110020402	小学校特別支援学級事業		すべて	指導課	1,114	1,120	2,569
110020402	小学校特別支援教室事業	対象	2	指導課		1,534	5,633
0110030202	中学校教育指導事業		すべて	指導課	4,599	13,939	9,004
0110030206	中学校移動教室等行事事業		すべて	指導課	805	872	988
0110030401	中学校特別支援学級事業		すべて	指導課	638	440	1,031
0110050401	立科山荘運営管理事業		2、3	生涯学習スポーツ課	35,755	35,106	32,167
総事業費(施策の合計)					833,253	898,176	993,945

4. まちづくり指標

指標情報				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度	平成37年度	
①	名称	東京都「学力向上を図るための調査」における平均正答率		目標値	—	都平均-3%(小) 都平均±0%	都平均-3%(小) 都平均±0%	都平均-2%(小) 都平均±0%	都平均±0%(小) 都平均±0%
	説明	単位	%	実績値	都平均-5%(小) 都平均-1%(中)	都平均-2%(小) 都平均-1%(中)			
	抽出方法			達成率	—	—			
②	名称	児童・生徒の「自己肯定感」にかかわるアンケート調査(自分には良いところがある)の肯定的回答		目標値	—	75%(小) 72%(中)	75%(小) 72%(中)	75%(小) 73%(中)	80%(小) 75%(中)
	説明	単位	%	実績値	72%(小) 70%(中)	70%(小) 76%(中)			
	抽出方法			達成率	—	—			

5. 評価(平成28年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	B	設定した指標に対して、学力方面では小学校では目標値を達成できているものの、中学校ではわずかに下回った。自己肯定感については、中学校では目標値を達成しているが、小学校では目標値を下回った。これらの指標から見ると、ほぼ期待する成果を挙げていると考えられるが、すべての面において目標を達成しているとは言えない。

※A 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が十分
 B 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の一部課題がある
 C 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が不十分

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズの状況	「生きる力」の育成は、広く保護者からも期待されている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	児童・生徒の生きる力の育成に当たって、保護者の期待が施策遂行の後押しになる。
他自治体との比較	学力向上については、多摩地区の多くの市で課題となっている。	3. 施策の必要性を高める	学力向上の取組みは様々な進められており、成果を挙げているが、より一層の推進が求められるため。
民間企業・NPO・市民の動向	地域の様々な教育資源を学校教育に活かす「学校支援地域本部事業」への取組みが進んでいる。	1. 施策遂行に役立つ・有利	学校支援地域本部の取組みが小学校を中心に進められており、成果を挙げつつある。
法・制度改正の動向	次期学習指導要領が告示され、小学校では平成32年度、中学校では平成33年度から全面实施となる。	3. 施策の必要性を高める	各学校に新学習指導要領の理念の周知徹底を図る必要がある。
技術革新の動向	次期学習指導要領において、プログラミング学習が導入されることが示された。	1. 施策遂行に役立つ・有利 3. 施策の必要性を高める	ICTをより一層活用した授業を展開することにより、児童・生徒の論理的な思考を高めることができる。
その他	2020年にオリンピック・パラリンピック東京大会が開催される。	1. 施策遂行に役立つ・有利	児童・生徒のスポーツに対する意欲を喚起するとともに、体力向上の機会となる。

施策評価シート

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題(平成30年度に向けて)	左記課題に関する現在の取組状況
①	学校教育における児童・生徒の学力向上には、教員の授業力向上が不可欠である。教員の人事については、東京都全体の広域な人事となるため、指導力に課題のある教員が一定数配置されることがある。年度ごとの計画的な人材育成を進めていく必要がある。	計画的な研修、校内におけるOJT等を通して、教員の指導力向上に努めている。
②	児童・生徒が様々な体験を通して、「豊かな人間性」を育むことができる機会を設定することが課題である。学校教育のみならず、多くの機会を捉えて、人間性を育む必要がある。	「赤ちゃんのチカラプロジェクト」、「全生園訪問」、「認知症サポーター養成講座」等の経験を通し、子どもの人間性の育成に計画的に取り組んでいる。
③	学校における体育の授業や部活動などの様々な体験の機会を捉え、体力向上の取組みを進めており、成果については全校で実施する体力テストにより確認している。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の機運醸成とも関連付けて、指導の充実を図る。	市内の芝山小学校と清瀬第五中学校が、オリンピック・パラリンピック教育アワード校の指定を受け、体力向上について先進的に取り組んでいる。